よなご

第624号
令和7年5月発行
電子版第81号

「地域と共に」

令和七年度 自衛官候補生課程入隊式

銃貸与式

宣誓　片岡自候生

式の様子

申告　田村自候生

令和七年四月十二日、桜満開の米子駐屯地において第八普通科連隊長（一等陸佐　中尾圭介）は、令和七年度自衛官候補生課程入隊式を挙行した。

式には米子市長　伊木隆司様、境港市長　伊達憲太郎様をはじめ、部内外から多数のご来賓の参列を賜り、隊員家族が見守る中粛々と挙行された。

式では、田村累斗自衛官候補生が代表して申告するとともに片岡楓茉自衛官候補生の先導により自衛官候補生全員が服務の宣誓を力強く行った。

連隊長は式辞において「様々な仕事がある中、陸上自衛隊を職業として選んでくれたことに対して君たちにお礼を言いたい。これから自衛官候補生課程前期三ヵ月間の教育において、陸上自衛官として技術を学び、力を蓄えることは、大きな目で見ると国を防衛するための一端を担っていることをよく認識し、これからの教育に励んでもらいたい。」と述べ、入隊にあたり「向き不向きよりより前向きに」「同期の絆を大切に」の二点を要望し、自衛官候補生の門出を祝った。

入隊式後は、記念会食が隊員食堂で行われ、御家族と自衛官候補生は食事をしながら久しぶりの再会に花が咲く様子が見え良き門出となった。

また記念会食の後段には自衛官候補生の着隊から入隊式までの動画が放映されたのち、鳥取県家族会　谷口雅人様よりお祝いの言葉を頂いた。その後、門脇結人自衛官候補生が「様々な困難に直面した時、仲間とともに乗り越えていき、三ヵ月後自衛官・社会人として成長した姿を見せられるよう日々訓練に邁進していきます。」と決意の言葉を力強く述べた。

行事終了後には、三ヵ月の教育をともにする区隊旗授与式及び銃貸与式が行われ自衛官候補生一人一人に銃が貸与された。

自衛官候補生は約三ヵ月にわたり陸上自衛官として必要な基礎的な教育及び訓練を受けたのち二等陸士の階級を付与されそれぞれの職種・任地へ配属されることとなる。

区隊旗授与式

入隊所感
入隊式を終えて

【鳥取県米子市出身】
第一班　矢野　一華

入隊式を終えて私は改めて、自衛官候補生に志願してよかったと思っています。私は体を動かすことが好きでその好きなことで人の役に立ちたいと思い入隊をしました。

着隊当初は、できないことばかりで、体育訓練の持続走がきつくて泣いてしまったり、腕立て伏せが一回もできず悔しくて落ち込んだこともありました。しかし、その度に班長・班付や班の皆が応援してくれ元気が出ました。苦手意識を捨て、一つずつ練成し、皆と成長して前期の終了式で両親に成長した姿を見せたいと思います。

これから始まる教育を通じて、たくさんの人と関わりお世話になると思います。何度も助けてくれる同期を一番大切にしていき、時には自分が支えとなれる、そんなより良い関係を築けるよう頑張っていきます。

【島根県邑南町出身】
第二班　田村　累斗

私は、仲間を大切にできる環境で働くことが一番自分の力が発揮できると思い、自衛官になることを決意しました。入隊してたった二週間しか経っていませんが、既に仲間の大切さに気づかされる場面が多々ありました。

自衛隊は、限られた時間内で自分のやるべきことをこなし、人を救っていかないといけないと思います。普段の生活から一分一秒を大切にしていかないといけませんが、ここで仲間の存在がとても重要になると思います。とにかく助け合いが一番であると思います。助け合いがなければ、自分も仲間も多くの人達を救うことはできません。

入隊式を終えて一人一人の自覚と覚悟が芽生えてきたと思います。私は誰よりも仲間のことを思いやれる人間に成長したいです。

この三ヵ月間、同期と共に、かけがえのないものにしていきます。

【鳥取県鳥取市出身】
第三班　山名　咲人

私が自衛隊に入隊した動機は、人の役に立つ仕事がしたいと思ったからです。テレビで災害派遣活動を泥だらけになりながら活躍している自衛官を見て、こんな仕事がしたいと強く思い入隊を決意しました。入隊式を終え自分がこれから国防という重大な使命を担う一員になったのだと身が引き締まりました。

現在の心境は正直、楽しみより不安のほうが大きいです。自分に務まるのか、仲間と上手くやっていけるのか考えれば考えるほど不安は膨らみます。しかし、自分で選んだ道だからこそ後悔したくありません。自衛官という選択が正しかったと思えるように、目の前の訓練に全力で取り組んでいきたいです。

今後の目標は、教育隊の中で信頼される隊員になることです。規律を守り、責任ある行動を心掛け、初心を忘れずに、毎日頑張っていきます。

令和七年度 駐屯地モニター委嘱式

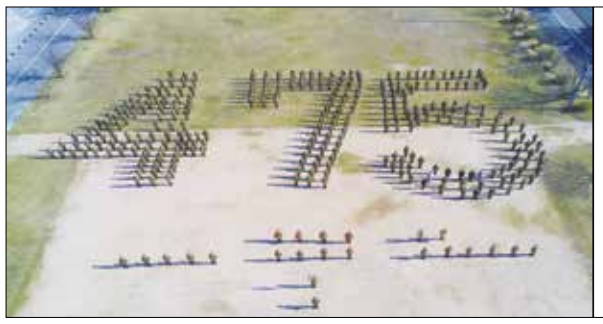
四月十二日、入隊式にあわせて防衛・駐屯地モニター委嘱式を行い、モニターの方々には委嘱後初めての行事である自衛官候補生課程入隊式に参列していただいた。

委嘱モニターは次の方々（順不同）

七・八年度防衛モニター
山岡　隆様

七年度駐屯地モニター
石井　宏美様
河本　拓也様
岡　可織様
永井　律子様
竹内　紀智様

令和七年度駐屯地モニターの皆さん



部隊長コラム

第三科長　三等陸佐
東　弘幸

残春の候、駐屯地所在部隊隊員及びご家族、地域の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、令和七年三月十七日付で第八普通科連隊第三科長を拝命いたしました東三佐と申します。

歴史と伝統のある第八普通科連隊及び米子駐屯地で勤務できることは大変な名誉なことであり、その重責に身の引き締まる思いです。

私はこれまで、第一普通科連隊（滝ケ原）、富士学校（富士）、第二十二普通科連隊（多賀城）、第六師団司令部（神町）、第三十二普通科連隊（大宮）、部隊訓練評価隊（北富士）、情報本部（市ヶ谷）で勤務しており、中部方面隊での勤務は初めてとなります。中尾連隊長のご指導の下、連隊の任務達成、益々の精強化のため、誠心誠意努力していく所存であります。

また、初めての山陰勤務となりますので、駐屯地、部隊、地域の歴史及び文化を学ぶとともに、これまで諸先輩が築いてこられた伝統を継承し隊員の模範となるよう精進していきたいと思っています。

今後とも、連隊及び駐屯地に対する皆様からのご指導、ご鞭撻賜りますようよろしくお願いいたします。

業務隊長　二等陸佐
山本　慎一

青葉の候、駐屯地所在隊員及びご家族、地域の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、令和七年三月十七日付で米子駐屯地業務隊長を拝命いたしました山本と申します。

歴史と伝統のある米子駐屯地において駐屯地業務隊長として勤務できることは、大変な名誉なことであり、その重責に身の引き締まる思いです。

私はこれまで、第八通信大隊（北熊本）、第五地対艦ミサイル連隊（健軍）、東部方面通信群（朝霞）、武器学校（土浦）、中央業務支援隊付（市ヶ谷）、通信学校（久里浜）、東部方面総監部（朝霞）、補給統制本部（十条）、北部方面後方支援隊（札幌）、第十三旅団司令部（海田市）で勤務してまいりました。中尾駐屯地司令のご指導の下、駐屯地司令要望事項である「地域と共に」を具現するため、尽力する所存です。

また、前職の第十三旅団司令部勤務時に、数度、米子駐屯地を訪れていますが、山陰での勤務は初めてとなります。地域の歴史・文化及び自然を満喫できればと思っております。

今後とも、駐屯地業務隊に対する皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

本管中隊長　一等陸尉
大谷　孝博

新緑の候、駐屯地所在隊員及びご家族及び地域の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、令和七年三月十七日付で第八普通科連隊本部管理中隊長を拝命しました。大谷一尉と申します。

私は、平成元年に、ここ米子駐屯地に新隊員として入隊、平成十九年に幹部に任官、平成二十年まで勤務させていただき、十七年ぶりに再び第八普通科連隊で中隊長として勤務できることは大変光栄であり、その重責に身の引き締まる思いです。

本部管理中隊は、中隊本部班、連隊本部班及び各直轄小隊により各種機能を発揮し連隊の任務達成に寄与する部隊です。このため、昨今の国外情勢や災害派遣により中隊に求められる能力を踏まえてあらゆる事態を想定し、常に挑戦の意識を持ち訓練に取り組み、能力を高め信頼される中隊を創造する所存であります。

第八普通科連隊本部管理中隊長として、これまで諸先輩方が築いてこられた伝統を継承し、隊員とともに隊風である「獅子奮迅」の如く何事にも取り組んでいく所存であります。また、中隊の骨幹は隊員一人一人であり、良好な勤務環境及び隊員個々の充実発展のため、引き続き隊員ご家族の皆様のご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げ着任の挨拶とさせていただきます。

警務隊長　一等陸尉
椎木　靖之

向暑の候、駐屯地所在隊員及びご家族の皆様におかれましては益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、令和七年三月十七日付けで第一三二地区警務隊（本部：海田市）米子派遣隊長を拝命いたしました椎木と申します。

歴史と伝統のある、そして風光明媚な米子駐屯地で勤務できることは大変な名誉と喜びであると同時に、その重責に身の引き締まる思いです。

私はこれまで、第九施設群第三二四施設中隊（小郡）（この間、第四次東ティモール派遣施設群（ディリ））、第五施設部（小郡）を施設科隊員として服務し、警務官として幹部に任官後、第一一九地区警務隊（旭川）、第一二二地区警務隊南恵庭連絡班（恵庭）（この間、第一五次派遣海賊対処行動警務隊（ジブチ））、第一三四地区警務隊飯塚連絡班（飯塚）、西部方面警務隊本部（健軍）、第一三二地区警務隊日本原派遣隊（日本原）、第一三〇地区警務隊直接支援保安警務隊（守山）（この間、サザンジャッカルー24（豪州））で服務しており、山陰地区での勤務は初めてとなります。

中尾駐屯地司令の掲げる、地域の皆様から「また来たい米子駐屯地」と思われる駐屯地の創造・ビジョンに対し、皆様のご理解と信頼の源泉となる「規律の維持」について全身全霊をもって寄与する所存です。

また、地域の歴史・文化、豊かな自然、そこに住まわれる地域の皆様と駐屯地の各種イベント等を通じた交流、そして与えられた職務に惚れ込んで公私ともに充実した勤務をしたいと考えています。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

教育訓練基盤構築
～練成道場に感謝の気持ちを込めて～

連隊は、四月十日から訓練基盤の維持・拡充を目的に日光演習場と基本射場の教育訓練基盤構築を実施した。

日光演習場については、整備隊長（本管中隊長　大谷一尉）以下一八〇名規模の人員が参加し、総合戦闘力の組織強化に必要な視射界確保のための伐採を実施した。雪解けの日光演習場は、倒木等が多数散見されたが、資材運搬車を有効的に活用し演習場の整備任務を整斉と完遂した。

編成完結式

十五日には十三旅団長（陸将補今村武）の視察を受けた。

米子射場では、新たに跳弾防止材の板を壁に張り付け、廃弾回収及び跳弾防止用の土嚢の積み替え作業が行われ、訓練場は見違えるほど変貌を遂げた。

これから訓練最盛期に入るが、演習場整備も無事完了し、隊員はこの整備された演習場を有効に活用し、個人及び部隊の更なる精強化を図っていく。

旅団長視察

壁に板の張り付け

側溝整備

駐屯地　春の一般開放

三月二十九日、米子駐屯地は駐屯地春の一般開放を行った。

一般開放を行うにあたり、駐屯地ＨＰやＳＮＳ等を活用した広報を行い、約三七〇名の来場者を迎えることができた。

当日は少し肌寒かったが天候にも恵まれ多数の来場者に楽しんでいただいた。

催し物では、連隊が保有する車両の展示、高機動車の体験試乗、鳥取地方協力本部によるミニ制服の試着体験や部外業者から本イベントに屋台を出店していただいた。

残念ながら満足な桜の開花には間に合わなかったものの、多数の来場者にお越しいただき、来場者及び隊員の活気によりイベントは盛り上がりを見せた。

駐屯地は今後も、自衛隊に対する理解を深めるとともに地域から信頼され、「また来たい米子駐屯地」を目指しこれからも精進していく。

装備品展示

桜鑑賞

陸曹候補生指定を目指せ！

連隊は、第一四八期陸曹候補生選抜試験を実施した。

三月下旬に一次試験（学科試験・体力検定）が行われ、一次試験を突破した七名が四月の下旬に二次試験（面接・基本教練・戦闘衛生・野外走）に臨んだ。

この時期は年度の変わり目で野営訓練や演習場整備等大変忙しい時期ではあったが、各中隊は、受験者に対して課業外、休日を活用し各課目の勉強、訓練等を行い、中隊の新たな戦力となるよう後輩育成に努めた。

連隊の選抜試験は、体力・気力の充実した良好な資質を持った隊員を選抜するため、厳しく行われ、特に障害走については陸曹への「過酷な道」として八連隊の伝統の種目となっており、この難関を突破した者のみが、栄光の候補生指定を手にすることができる。各中隊長・陸曹・同僚の大声援を受け、体力を出し切ってゴールに倒れこむ受験生達に、精強八連隊の将来を担うであろう若者の姿が見えた。

一次試験での体力検定（3,000m走）

二次試験での野外走（綱登り）

二次試験での分隊教練

大山春の一斉清掃

四月二十日、自衛官候補生は、徳操教育の一環として大山の美化を推進する会が主催する大山春の一斉清掃に参加し大山周辺の美化活動に寄与した。

ボランティア活動は、大山の豊かな環境景観を守ることを目的として行われ、大山周辺地域の三会場に分けて実施されており、今回で九十六回目を迎える歴史のある活動である。

清掃の様子

参加した自衛官候補生は、博労座駐車場において開会式に参加した後、駐車場周辺地域や川沿いのゴミ拾いを地域の方々と協力しながら交流を深めつつ活動を行った。

今後も駐屯地はボランティア活動等を通して地域との連携を図り、自衛隊に対する理解を深めていく。

安全教育

清掃の様子

集合写真

新たな門出へ！除隊式

三月十九日、米子駐屯地体育館において、連隊所在隊員が見守る中、三月末に自衛隊を退職する十名の除隊式を挙行した。

式において連隊長（一等陸佐中尾圭介）は、「君達が自衛隊で学んだ責任感や忍耐力、規律心や協調性は、退職後も必ず役立つものである。誇りと自信をもって今後の人生を歩んでもらいたい。」と式辞を述べた。また除隊者を代表して第三中隊　藤原士長が「多くの方々の支えががあり自衛官として勤務できたことに深く感謝します。」と感謝の言葉を述べた。

除隊式に引き続き行われた記念会食では、入隊式から除隊までのスライドショーを視聴し、隊員たちは自衛隊生活を振り返り感慨深く見入っていた。

式辞を述べる連隊長

感謝の言葉を述べる除隊者

辞令書交付

会計隊　特技検定を実施

駐屯地会計隊は、米子駐屯地において、「初級会計」の特技検定を実施した。

会計隊の特技検定は、新隊員特技課程「会計」を終了後から、約六ヵ月以上経過したものに対し受験資格が与えられ、駐屯地会計隊からは、昨年四月に入隊した永田一士、連隊第二中隊から異動した山本士長の二名が「初級会計」の特技検定に挑んだ。

結果は、二名とも合格基準に達し「初級会計」の特技を取得した。

特に永田一士については、中部方面隊の「初級会計」受験者の中でトップの成績で見事合格し、駐屯地会計隊の存在を方面管内にアピールした。

今後も駐屯地会計隊は、駐屯地を支えるとともに、永田一士に続いて来年も成績上位者を輩出すべく後輩育成に努めていく。

特技検定を実施する隊員

見事優勝！中四国地区銃（短）剣道選手権大会

三月二十三日、南国市立スポーツセンター（高知）で行われた、第五十二回中国四国地区銃（短）剣道選手権大会に八連隊銃剣道訓練隊が参加した。

団体戦は、監督第二中隊　井ノ上二曹、先鋒第一中隊　齋木三曹、次鋒第二中隊　井ノ上二曹、中堅第一中隊　平尾二曹、副将第一中隊　谷三曹、大将第三中隊　坂口二曹で挑み、第一回戦は十七普連Ｂ（山口）と対戦し、四対一で勝利した。二回戦の対五〇普連Ｂ（高知）戦では五対〇で勝利し、準決勝の対戦相手は全日本銃剣道優勝大会など様々な大会で優勝している日本原Ａと対戦し四対一で圧勝し決勝に進んだ。決勝の対戦相手は五〇普連Ａ（高知）で中堅の試合では接戦となり審判による旗判定により勝利を収めた。決勝戦では四対一と圧勝し十三年ぶりに見事優勝した。

集合写真

次鋒　井ノ上二曹

副将　谷三曹

中堅　平尾二曹

駐屯地サマーフェスタ

開　催　日　８月７日（木）
場　　所　米子駐屯地グラウンド
イベント情報　隊員による余興、太鼓、屋台、子供コーナー、花火など各種催し物（現在調整中）

※駐車場は現在調整中ですが、混雑が予想されますので、できる限り乗り合わせてご来場いただくか、公共交通機関をご利用ください。
※内容は変更になる場合がございます。詳しくは米子駐屯地ＨＰまたはＳＮＳをご確認ください。

栄光・表彰

第一〇五期一般幹部候補生課程
幹部候補生学校長賞
第一中隊　西尾曹長

第五十二回中国四国地区銃（短）剣道選手権大会
団体戦　優勝

全日本銃剣道優勝大会
ベスト８

ラッパ吹奏優秀隊員
第一中隊　山本士長

定年退官

永年の勤務ご苦労様でした。
業務隊　陸曹長　錦織　佳枝
三月二十六日付

業務隊　陸曹長　棚田　泰平
五月一日付

本部管理中隊
准陸尉　石原　俊彦
五月十六日付

編集後記

令和七年度が始まり、この春から新たなスタートを切った方もおられると思いますが皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

皆様、今年も来ました、くしゃみ、目のかゆみ、鼻づまりの季節…。そうです、花粉症です。花粉症で毎日辛い思いをしている方もおられると思います。花粉症の原因として、七〇％はスギ花粉症だと考えられており、全国の森林の十八％、国土の十二％をスギの木が占めているからです。関東や東海地方にはスギが中心で関西はスギの木だけでなくヒノキも植林面積が広いためヒノキ花粉にも要注意です。

私はスギ花粉症でひどいときは目の充血、くしゃみ、鼻づまりによって集中力の低下やよく眠れないなど私生活に支障が出るほどひどいときがあります。

花粉症の治療法として「薬物療法」、「アレルゲン免疫療法」、「手術療法」の三つがあります。薬物療法では鼻の炎症を抑える点鼻ステロイド剤や目のアレルギー性炎症には点眼ステロイド薬を使用します。アレルゲン免疫療法は、原因となるアレルゲンを投与し、体のアレルギー反応を弱める治療法です。手術療法は、薬物療法でも症状が抑えられない場合に考慮される治療です。しかし、これらの治療は完治させることは難しいとされており、マスクの着用や目の洗浄など自ら花粉症対策をしていく必要があります。またテレビで観たのですが、Ｒ－1を飲み続けた人が花粉症の症状が和らいだという報告があり、Ｒ－1を飲むことで免疫力が高まるからだとされています。

花粉症でない方も突然発症する可能性があります。そうならないように、自ら対策を行い花粉症に打ち勝ちましょう！